

第26回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成27年9月24日 午前10時00分～11時45分

場 所 神戸市危機管理センター 本部員会議室

1. みちづくり計画の改定に向けて

○柱の名称

- ・柱を4本から3本にしたことで環境の大きな柱が無くなったような印象を受けることから工夫が必要。
- ・柱の名称（英単語）に、事務局がいくつかの意味を包含させたい意図は分かる（Life：生活、ライフスタイルなど）。これらが市民感覚で分かるかを踏まえて柱の名称を再検討した方がよい。

○地域特性に応じた取組について

- ・神戸らしさが重要であり、これらを表現するためには地域別計画にいかにより地域の特性を取り込むことができるかである。そのため、3章（地域特性に応じた取組）に力を入れていただきたい。

○その他

- ・シニア層、ベビーカーを押す高齢者といった発想がない。若年層を中心とするだけでなく、やはり3世代を中心に展開していくべきである。
- ・女性が働く社会は重要であるため、男性が車椅子やベビーカーを押しているシーンを絵として入れることにより、メッセージを打ち出してはどうか。
- ・車の自動運転化等の技術革新が今後も見込まれるため、これらを踏まえて計画を検討する必要がある。
- ・市民目線で夢のある計画を記載してはどうか。
- ・+design（デザイン）は重要である。アイデアの出し方は色々あり、行政だけではなく様々な民間のアイデアを活用するためにコンペなどを行ってはどうか。
- ・神戸市には、まちづくり協議会や環境に関する協議会があるため、そうした人たちと連携し、計画へのご意見いただく場面があればと思う。